

全国



第2339・40号

ぜんこくしぎかいじゅんぱう

市議会旬報

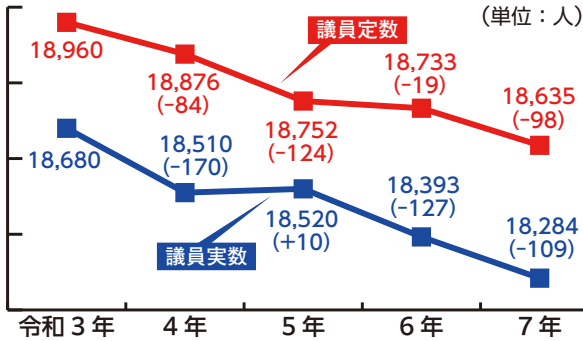
令和8年 (2026年) 6月25日

毎月3回5の日に発行 発行 全国市議会議長会

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-2 代表 TEL 03 (3262) 5234 旬報 TEL 03 (3262) 5237 発行人 宮地 毅 https://www.si-gichokai.jp 議長会HP



グラフ 議員実数・定数の推移 (直近5年)



調査結果(過去分含む)を基に本会作成 ※( )は前年との差 令和3年から7年までの議員実数・定数の推移を上グラフにまとめました。議員定数は減少傾向が続いており、実数に関して

議員実数・定数の状況 全国815市の市議会議員の実数・定数の状況について、過去の比較なども併せて掲載する。

議員実数・定数の状況

調査時点の815市区議会議員の実数は1万8,284人(前年比10.9人減)で1市あたりの平均は22.9人(前年比0.1人減)、定数は1万8,635人(前年比0.2人減)で1市あたりの平均は22.9人(前年比0.1人減)となり、実数・定数ともに令和6年の調査時点から減少した。

本会は、令和7年12月末現在の「市議会議員定数に関する調査結果」及び「市議会議員報酬に関する調査結果」を取りまとめた。815市区の議員実数・定数はともに減少傾向で、報酬の平均月額も議長・副議長・議員いずれも微増となった。調査結果は本会ウェブサイトに掲載。

本会調べ

議員定数・報酬 調査結果

議員実数・定数 減少傾向続く

も一時は下げ止まったものの再び減少傾向に入った。人口段階別の1市あたり平均議員実数・定数については、前年との比較を下表①にまとめた。

議員実数・定数については、3つの人口段階等の区分で増加したものの、全国平均は減少している。各市区ごとの議員実数・定数等については、本会ウェブサイトに掲載している。

議員報酬の状況

全国815市の市議会議員報酬の平均及び人口段階、特別区、指定都市

表① 人口段階別の1市あたり平均議員実数・定数

(単位：人)

Table with 5 columns: 区分 (人口), 市区数, 一市あたり平均議員実数 (令和6年, 令和7年, 前年比), 一市あたり平均議員定数 (令和6年, 令和7年, 前年比). Rows include population segments from under 50,000 to over 500,000, designated cities, and national average.

※調査結果(過去分含む)を基に本会作成

別の報酬の状況について、過去の比較なども併せて掲載する。正副議長と議員の平均報酬月額の全国平均については、議長、副議長、議員が52.5万円、46.4万円、42.9万円それぞれ前年比0.3万円

【2面へ続く】

の増額となった。直近12年の議長・副議長・議員報酬月額、全国平均の推移について、下表②にまとめた。平成26年以降、それぞれの平均報酬月額は新型コロナウイルス感染症の影響により減少した令和2年を除いて微増または同額で、令和5年からは3年連続増額となるなど、緩やかな増加傾向が続いている。人口段階、特別区、指定都市別の議長・副議長・議員の平均報酬月額については下表③の通り。

全国の平均報酬月額のうち、特に増加の幅が大きいのは特別区の正副議長及び議員で、議長報酬が前年比2.3万円増、副議長が2.0万円増、議員が1.6万円増となった。各市区ごとの報酬月額等については、[本会ウェブサイトに掲載](#)している。

表② 議長・副議長・議員の平均報酬月額の推移(直近12年) (単位:万円)

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
議長	51.3	51.5	51.7	51.7	51.7	51.8	51.5	51.8	51.8	52.0	52.2	52.5
副議長	45.3	45.5	45.6	45.7	45.7	45.8	45.5	45.8	45.8	46.0	46.1	46.4
議員	41.8	42.0	42.1	42.2	42.2	42.3	42.0	42.3	42.3	42.5	42.6	42.9

※調査結果(過去分含む)を基に本会作成 ※前年比増、前年比減 ※100円単位を四捨五入

表③ 議長・副議長・議員報酬人口段階別平均報酬月額 (単位:万円)

区分 人口	市区数	議長平均			副議長平均			議員平均		
		令和6年	令和7年	(前年比)	令和6年	令和7年	(前年比)	令和6年	令和7年	(前年比)
5万人未満	307	42.0	↗	42.3 (+0.3)	36.4	↗	36.7 (+0.3)	33.9	↗	34.2 (+0.4)
5~10万人未満	230	48.8	↗	49.1 (+0.3)	43.2	↗	43.4 (+0.2)	40.4	↗	40.6 (+0.2)
10~20万人未満	145	55.9	↗	56.3 (+0.4)	50.1	↗	50.4 (+0.4)	46.7	↗	47.0 (+0.3)
20~30万人未満	41	64.3	↗	64.6 (+0.3)	58.2	↗	58.5 (+0.3)	54.4	↗	54.7 (+0.4)
30~40万人未満	27	70.2	↘	69.9 (-0.3)	64.3	↗	64.4 (+0.1)	60.0	↗	60.1 (+0.0)
40~50万人未満	15	74.0	↗	74.3 (+0.3)	66.9	↗	67.2 (+0.3)	62.4	↗	62.6 (+0.3)
50万人以上	7	77.0	↗	77.3 (+0.3)	70.1	↗	70.4 (+0.3)	64.2	↗	64.5 (+0.3)
特別区	23	92.6	↗	94.9 (+2.3)	79.4	↗	81.4 (+2.0)	61.4	↗	63.0 (+1.6)
指定都市	20	95.8	↗	96.2 (+0.4)	86.2	↗	86.5 (+0.3)	78.7	↗	78.9 (+0.2)
全国平均	815	52.2	↗	52.5 (+0.3)	46.1	↗	46.4 (+0.3)	42.6	↗	42.9 (+0.3)

※調査結果(過去分含む)を基に本会作成 ※100円単位を四捨五入

共同編集：全国市議会議長会・全国町村議会議長会

議員研修誌 月刊 **地方議会人** 2026 6

A4判・68頁・定価956円(年間購読料 11,472円)

**特集**  
地方議会はAIをどう活用するか

巻頭言 地方自治に思う  
AI時代の議会の役割と必要となるガバナンス  
東京大学大学院 法学政治学専攻教授 宍戸常寿

■ 特集  
▶ 生成AIの基本と地方議会での活用法  
早稲田大学デモクラシー創造研究所 招聘研究員 NITアドバンステクノロジー(株) 担当課長 神奈川県真鶴町 公式アンバサダー 西川裕也

▶ こんなに変わる！ 議会広報にAIを使ってみよう  
文章講師 コピーライター 前田めぐる

▶ 市町村議会における生成AI活用に伴うリスクと課題  
早稲田大学電子政府・自治体研究所 研究院教授 岩崎尚子

■ 現地報告  
▶ 北海道登別市/AIが拓く「議会改革」の可能性と課題  
登別市議会議長 千田文孝

特別コラム 私の生成AI活用法  
生成AIは「答え」ではなく「問い」を磨くパートナー  
登別市議会議員 辻弘之

▶ 奈良県王寺町/「住民に届く言葉」を紡ぐ実践的AI活用法  
王寺町議会議会運営委員長 沖優子

▶ 熊本県大津町/「習より慣れよ」で調査活動の強い味方に  
大津町議会議員 佐藤真二

▶ 島根県浜田市/「情報公開」の土壌がAI導入の大きな強みに  
浜田市議会事務局次長 濱見武士

議員研修誌 **地方議会人** 2026 6

共同編集 全国市議会議長会・全国町村議会議長会

地方議会はAIをどう活用するか

巻頭言 宍戸常寿

▶ 特集  
▶ 生成AIの基本と地方議会での活用法  
▶ こんなに変わる！ 議会広報にAIを使ってみよう  
▶ 市町村議会における生成AI活用に伴うリスクと課題

▶ 現地報告  
▶ 北海道登別市/AIが拓く「議会改革」の可能性と課題  
▶ 奈良県王寺町/「住民に届く言葉」を紡ぐ実践的AI活用法  
▶ 熊本県大津町/「習より慣れよ」で調査活動の強い味方に  
▶ 島根県浜田市/「情報公開」の土壌がAI導入の大きな強みに

お問合わせ  
TEL 03-3264-2520又はFAX 03-3264-2867 株式会社 中央文化社  
https://chuobunkasha.com/

「月刊 地方議会人」26年度デジタルブックサンプル号が読めます！

「月刊 地方議会人」サンプル号ではデジタルブックで地方議会議員・議会事務局の方々から好評の特集、現地報告、連載の一部を「無料」で読むことができます！[👉 クリック](#)

ご購入に際しての「お申し込み」

[こちらをクリックし、中央文化社のホームページよりお申し込みください。](#)

※お電話やFAXでのお申し込みも受け付けております。

議会人事

(6月5日報告分まで掲載)

▼議長

▽香南 岡本 司(4・28)

▽碧南 神谷 悟(5・14)

▽大阪狭山 鳥山 健(5・14)

▽福山 連石武則(5・14)

▽上別 村上緑一(5・15)

▽魚津 林 久嗣(5・15)

▽横浜 渡邊忠則(5・15)

▽高崎 長壁真樹(5・15)

▽佐倉 斎藤明美(5・15)

▽三島 岡田美喜子(5・15)

▽常滑 加藤久豊(5・15)

▽豊明 毛受明宏(5・15)

▽四日市 中川雅晶(5・15)

▽羽島 原 一郎(5・15)

▽堺 長谷川俊英(5・15)

▽枚方 大地正広(5・15)

▽大崎 佐藤弘樹(5・18)

▽甲斐 小澤重則(5・18)

▽下野 秋山幸勇(5・18)

▽久喜 春山千明(5・18)

▽一宮 渡辺之良(5・18)

▽日進 水野たかひろ(5・18)

▽みよし 増岡義弘(5・18)

▽中津川 吉村孝志(5・18)

▽四條畷 長畑浩則(5・18)

▽大津 川口正徳(5・18)

▽府中(広島)

▽西予 広瀬和彦(5・18)

▽気仙沼 源 正樹(5・18)

▽能代 菊田 篤(5・19)

▽にかほ 安岡明雄(5・19)

▽上越 森 鉄也(5・19)

▽福井 江口修一(5・19)

▽福井 野嶋祐記(5・19)

▽半田 氏家 晃(5・19)

▽門真 澤田 勝(5・19)

▽西宮 後藤太平(5・19)

▽たつの 大川原成彦(5・19)

▽山口 楠 明廣(5・19)

▽三条 伊藤 齊(5・19)

▽貝塚 野寄久雄(5・20)

▽彦根 川岸貞利(5・20)

▽近江八幡 長崎任男(5・20)

▽笠岡 中田幸雄(5・20)

▽鹿屋 仁科文秀(5・20)

▽伊勢崎 永山勇人(5・20)

▽藤岡 藤生浩一(5・21)

▽名古屋 丸山 保(5・21)

▽白杵 小出昭司(5・21)

▽白杵 伊藤 淳(5・21)

▽鹿兒島 古江尚子(5・21)

▽坂出 前川昌也(5・22)

▽江東 川北直人(5・25)

▽泉佐野 大庭聖一(5・25)

▽豊中 石原準司(5・26)

▽目黒 西村ちほ(5・27)

▽豊島 高橋佳代子(5・28)

▽鎌ヶ谷 針貝和幸(5・28)

▽浜松 渥美 誠(5・28)

▽墨田 坂井ユカコ(5・29)

▽荒川 並木一元(5・29)

▽鴻巣 川崎葉子(5・29)

▽湖西 馬場 衛(5・29)

▽栗東 川嶋 恵(5・29)

▽備前 石原和人(6・1)

▽松山 大塚啓史(6・1)

▽都留 山口一裕(6・3)

▽姫路 西本真造(6・3)

▽吹田 橋本 潤(6・4)

▽練馬 橋本 潤(6・4)

▽足立 伊藤のぶゆき(6・5)

▽熊谷 影山琢也(6・5)

▽上尾 浦和三郎(6・5)

▽副議長 中田幸雄(5・20)

▽香南 濱口涼子(4・28)

▽岩倉 片岡健一郎(5・8)

▽碧南 藤浦伸介(5・14)

▽大阪狭山 花田全史(5・14)

▽福山 宮本宏樹(5・14)

▽小郡 大場美紀(5・14)

▽士別 真保 誠(5・15)

▽魚津 濱田泰友(5・15)

▽高崎 樋口哲郎(5・15)

▽所沢 末吉美帆子(5・15)

▽佐倉 山本英司(5・15)

▽東金 中村美恵(5・15)

▽勝浦 鈴木克己(5・15)

▽三島 村田耕一(5・15)

▽常滑 大川秀徳(5・15)

▽豊明 服部龍一(5・15)

▽四日市 平野貴之(5・15)

▽羽島 南谷清司(5・15)

▽堺 森田晃一(5・15)

▽枚方 妹尾正信(5・15)

▽大崎 伊勢健一(5・18)

▽甲斐 若尾彰子(5・18)

▽下野 浅野貴之(5・18)

▽久喜 西本由利子(5・18)

▽館山 川内鴻輝(5・18)

▽一宮 鈴木ひとみ(5・18)

▽日進 中村かずひと(5・18)

▽みよし 川嶋恵美(5・18)

▽小嶋立夫(5・18)

▽鈴鹿 加藤公友(5・18)

▽中津川 櫛松直子(5・18)

▽四條畷 柳生駿祐(5・18)

▽大津 笠谷洋佑(5・18)

▽府中(広島) 加島広宣(5・18)

▽西予 酒井宇之吉(5・18)

▽気仙沼 今川 悟(5・19)

▽能代 針金勝彦(5・19)

▽にかほ 佐々木孝二(5・19)

▽上越 小林和孝(5・19)

▽福井 玉村正人(5・19)

▽半田 芳金秀展(5・19)

▽尾張旭 大島もえ(5・19)

▽門真 森 博孝(5・19)

▽西宮 かみたにゆみ(5・19)

▽たつの 畑山剛一(5・19)

▽山口 原 真也(5・19)

▽さぬき 中澤 誠(5・19)

▽三条 岡田竜一(5・20)

▽貝塚 谷口美保子(5・20)

▽八尾 南方 武(5・20)

▽彦根 森田 充(5・20)

▽近江八幡 三上英夫(5・20)

▽笠岡 大山盛久(5・20)

▽美馬 田中みさき(5・20)

▽鹿屋 繁昌誠吾(5・20)

▽小田原 清水隆男(5・21)

▽伊勢崎 馬庭充裕(5・21)

▽藤岡 阿野剛士(5・21)

▽名古屋 森ともお(5・21)

▽白杵 甲斐 尊(5・21)

▽鹿兒島 長浜昌三(5・21)

▽北 花見たかし(5・22)

▽高浜 荒川義孝(5・22)

▽坂出 角野正明(5・22)

▽江東 高村きよみ(5・25)

▽泉佐野 高橋圭子(5・25)

▽豊中 山本一徳(5・26)

▽目黒 松田哲也(5・27)

▽豊島 星 京子(5・28)

▽浜松 平野岳子(5・28)

▽墨田 高橋正利(5・29)

▽栗東 上田忠博(5・29)

▽備前 戴内 靖(6・1)

▽松山 白石勇一(6・1)

▽敦賀 縄手博和(6・2)

▽桶川 江森誠一(6・2)

▽行橋 西田憲司(6・2)

▽鎌倉 日向慎吾(6・3)

▽都留 奥勝隆夫(6・3)

▽姫路 三和 衛(6・3)

▽吹田 有澤由真(6・4)

▽練馬 星野あつし(6・5)

▽足立 吉田こうじ(6・5)

▽熊谷 田中純一(6・5)

▽上尾 井上智則(6・5)

▽室蘭 太田篤司(4・1)

▽敦賀 吉岡潤子(4・1)

▽大町 竹村光江(4・1)

▽鎌倉 小川充則(4・1)

▽小田原 大井友海(4・1)

▽下野 篠崎正代(4・1)

▽伊勢崎 石橋勇一郎(4・1)

▽館山 君塚和則(4・1)

▽浜松 清野訓子(4・1)

▽一宮 白木伸幸(4・1)

▽半田 新美恭子(4・1)

▽西宮 園田敏文(4・1)

▽大竹 富田亜紀子(4・1)

▽さぬき 細川史朗(4・1)

▽行橋 西川雅隆(4・1)

▽白杵 尾本 浩(4・1)

▽宇佐 後藤由紀子(4・1)

▽鹿屋 黒木 裕(4・1)

▽留萌 佐伯忠昭(5・1)

▼事務局長

# 全国市議会議員 団体補償制度のご案内

ケガの保険  
(傷害総合保険)

保険期間は8月1日 午後4時から1年間 中途加入も随時受付！議員退職時に継続加入も可能！

全国市議会議長会では、議員の皆さまが、不慮の事故によるケガ等に備えて、安心して議員活動を行うことができるよう、全国の市区議会議員を対象とした団体補償制度を用意しています。

割安な保険料で大きな補償！月額保険料 3,500 円で最大死亡・後遺障害保険金額 2,000 万円！

メリット

- ① 割安な保険料で大きな補償！
- ② 被保険者の年齢にかかわらず、加入可能！
- ③ 年齢による補償額(保険金額)の制限なし！

団体割引  
**15%**

本人型 保険料月額 **3,500円**

夫婦型 保険料月額 **5,700円**

家族型 保険料月額 **7,900円**

月額保険料 3,500 円で最大死亡・後遺障害保険金額 2,000 万円の補償。一般の保険に個人で加入するよりも割安な保険料で大きな補償を受けることができます。

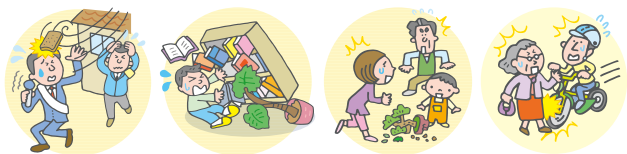
団体契約による割引がない場合と比較すると年間 7,560 円もお得です！！

1 年間の保険料は年齢に関係なく、本人型は月額 3,500 円、夫婦型は月額 5,700 円、家族型は月額 7,900 円。

日常生活や議員活動中の事故によるケガまで24時間の安心補償！地震など天災事故によるケガも補償！

「ケガの補償」は、日本国内・海外を問わず、通勤途中、公務中、家庭内、職場内、旅行中など、日常生活や議員活動中における 24 時間のあらゆるケガを補償。地震・噴火、これらによる津波に起因する死亡・後遺障害・入院・通院も補償します。

「賠償の補償」は、本人だけでなく、配偶者や同居の親族などが日常生活において、他人をケガさせたり、他人の財物を壊したりしたことにより、法律上の賠償責任が発生した場合に補償します。



日常生活や議員活動中の事故によるケガ 地震によるケガ 同居の子供や孫が他人のものを破損させたケガを負わせた 自転車で他人にケガを負わせた

- おケガでの死亡・後遺障害はもちろん、入院、通院は1日から、日帰り手術も補償します！！
- 個人賠償責任特約がセットされているので自転車事故や日常生活の賠償事故も補償します！！

議員 1 人のお申し込みでご家族の皆さまを補償！医師の診査不要で加入手続きが簡単！

市区議会議員の皆さまであれば、どなたでも加入することができ、加入に際して医師の診査は不要です。

夫婦型への加入で配偶者も補償の対象となります。また、家族型への加入なら配偶者、本人またはその配偶者の同居親族、本人またはその配偶者の別居の未婚の子も補償の対象となります。



- 1 本人
  - 2 本人の配偶者
  - 3 本人またはその配偶者の同居の親族<sup>(※)</sup>
  - 4 本人またはその配偶者の別居の未婚の子
- (※) 親族：6親等内の血族、配偶者または3親等内の姻族

保険金額と保険料 (保険期間 1 年、職種級別 A 級) (過去の損害率による割増 5%、団体割引 15%)

天災危険補償特約、後遺障害等級限定補償特約(第1級～第3級)、手術保険金倍率変更特約および重大手術保険金倍率変更特約セット

プラン	本人型	夫婦型		家族型		
補償の対象者	本人	本人	配偶者	本人	配偶者	同居の親族と別居の未婚の子
補償内容	保険金額	保険金額		保険金額		
死亡・後遺障害保険金額	2,000 万円	2,000 万円	1,000 万円	2,000 万円	1,000 万円	500 万円
入院保険金日額	10,000 円	10,000 円	7,900 円	10,000 円	7,900 円	4,600 円
通院保険金日額	4,550 円	4,550 円	3,750 円	4,550 円	3,750 円	2,100 円
手術保険金	重大手術の場合 入院保険金日額の 40 倍		重大手術以外の場合	入院中の手術：入院保険金日額の 20 倍 外来の手術：入院保険金日額の 5 倍		
個人賠償責任補償	最高 2 億円 (自己負担額なし)					
月払保険料	3,500 円	5,700 円		7,900 円		

・農林業作業、漁業作業、建設作業等の職業に従事されている方は、保険金額が上記より低くなります。金額については、取扱代理店にお問い合わせください。